

”やる気”が街を変える！



国土交通省北陸地方整備局
富山工事事務所所長
久保田勝さん

プロフィール

昭和28年12月22日生まれ
大阪府出身。
京都大学大学院昭和53年3月卒
昭和64年11月1日
河川局治水課長補佐
平成10年4月1日
河川局河川環境課都市河川室長

生なんです。『雨水貯留管』があれば、洪水も汚水の流入もストップできて一石二鳥になる。

久保田 雨で増水すると、せつかく河川内に設けた遊歩道も冠水して汚くなるでしょう。

中村 そうなんです。実は松川の遊歩道は、中沖知事が「松川環境整備事業に思う※」の中で書いておられますが、「県都富山市の中心部を流れる松川を”水と緑に親しむ憩いの場”とする為、河川内遊歩道を設けて、県都にふさわしい安らぎと潤いの新天地にしたい」との熱い思い入れで実現したんですよ。

久保田 私も休みで東京に帰る時、よくこの河川内遊歩道を歩くんだけど、爽やかで気持ちいいね。しかし、大雨の後は汚くて歩けない。

中村 汚水と共にヘドロが遊歩道に上って臭くて誰も近づかなくなる。

久保田 汚くて歩けない。せつかく河川内遊歩道を設け、「県都にふさわしい安らぎと潤いの新天地にした

「街を良くしたい」という 思い入れをもった人を増やす

中村 富山市の最大の課題は中心市街地の活性化なんです。

久保田 それには中心部の城址公園や松川をもっと魅力のある場所にして、人が行きたくなるようにすることが大切です。その為には、「街を良くしたい」という思い入れをもった人を増やすことです。

中村 以前は河川局の都市河川室長をなさっておられたそうですね。

久保田 あそこでは「河川再生事業」を手がけていたんですよ。大阪・道頓堀の再生計画なんか、川の中にテラスや遊歩道等を整備して、沿線の建築物も全部川側に正面を向けてもらい、川を中心とした街にするんで

い」と中沖知事の「思い」が、担当者に浸透していない。施設は管理して初めて生きるんです。

中村 もつたいないですよ。宝の持ち腐れになっている。

「管理を徹底すれば ”母なる松川”は美しく甦る

久保田 管理の問題ですね。松川は県都富山市のシンボルの川でしょう。

中村 この川によって富山が生まれた”母なる川”特別な川です。

久保田 だったら掃除しなくちゃ。洪水の引き際の時にポンプ車を一台持つてきて、洗い流すんですよ。そうすると早いんですよ。ヘドロついてしまっていると取れなくなるから、その前に洗い流す。これ一番安上がり。それも全部川の水で。ホースの勢いで全部洗い流す。

中村 なるほど。

久保田 「雨水貯留管」が出来るまでは管理をしつかりやつて施設を活

す。
中村 すばらしいですね。川が街のシンボルになりますね。

久保田 治水もしつかりやるんです。道路や川の下にでつかい水路を作つて。だから東京の神田川、昔良く雨が降ると溢れてたけど、今はほとんど無くなった。環状7号線とかの下に、どーんと大きなトンネルの水路を掘つたんですよ。

中村 でつかいやつ！

久保田 でつかいやつ。地下鉄のトンネルよりまだでつかい。雨水は全部そこに落とすんですよ。ま、池ですよね。「雨水貯留管」といいますが。洪水が終われば、それをポンプで引っぱり上げて川に流す。

中村 なるほど。

久保田 地上では全然見えない。なんで洪水がなくなったんだらうって、都民は驚いている。

中村 富山市中心街の下水道管は、雨水との合流管の為、大雨のたびに汚水が松川・いたち川に入つて不衛

かす。「シンボル」を汚くしたままでは恥ずかしい！

中村 雨は夜中も降るし、上流の磯部にある県管理のゼロカット水門をすぐ閉めると、かなり防げるんですが。

久保田 やつぱり、河川管理者である県か市でしょう。業者に業務委託するんですよ。協定結んで。

中村 県都富山市のど真ん中の川が臭くつては、人が集まつてこないのもムリがない。代わりに城址公園もそうですが、カラスがどんどん増えている。生ゴミや残飯なんかが流れてきて、水が引くと遊歩道に残つたりしたのをあさっているんです。

久保田 やつぱり中心市街地の活性化は城址公園と共に、松川を美しくすることが先だね。潤いと安らぎのある所に人々が集まり、街全体の賑わいに波及していくんですよ。

中村 アスファルト砂漠の中の美しいオアシスにしたいですね。

久保田 出来ますよ。「やる気」さえあれば。④

注※「新たな気流に乗って」とやま21世紀への挑戦」1987年刊164P